

平成25年度

嬉野市水道事業会計  
決算審査意見書

嬉野市監査委員

嬉 監 第 5 2 号

平成26年 8月21日

嬉野市長 谷口 太一郎 様

嬉野市監査委員 西川 平七

嬉野市監査委員 西村 信夫

平成25年度嬉野市水道事業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成25年度嬉野市水道事業会計決算について審査したので、次のとおり審査意見書を提出します。

# 目 次

## 平成25年度嬉野市水道事業会計決算審査意見書

第1	審査の概要	2
1	審査の対象	2
2	審査の期間	2
3	審査の手続	2
第2	審査の結果	2
1	事業の概要について	3
2	予算及び決算について	5
3	経営成績について	7
4	財政状況について	9
5	経営指標について	13
6	むすび	14

## 平成25年度嬉野市水道事業会計決算審査意見書

### 第1 審査の概要

#### 1 審査の対象

平成25年度嬉野市水道事業会計決算

#### 2 審査の期間

平成26年6月20日から平成26年7月25日まで

#### 3 審査の手続

地方公営企業法第30条第2項の規定により提出された決算の審査にあたっては、

- (1) 決算書及び決算付属書類は、地方公営企業法及び関係法令の規定に従って作成されているか。
- (2) 経営成績及び財政状況は適正に表示されているか。
- (3) 計数は正確であるか。

を主眼とし、審査に必要な関係諸帳簿、証ひょう書類、資料等の提出を求め、関係職員から説明を聴取するなどの方法で審査するとともに、過去の実績との比較検討を加え事業の実態確認を行った。

### 第2 審査の結果

審査に付された決算書及び決算付属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、平成25年度の経営成績及び年度末現在における財政状況を適正に表示されているものと認めた。

以下、審査の結果を記述する。

# 1. 事業の概要について

## (1) 給配水の状況

給配水の状況を昨年度と比較すると次表のとおりである。

事 項	平成25年度(3月末現在)			備 考 (うち簡易水道事業)	
	塩田地区	嬉野地区	合 計		
年度末給水人口	9,313人	16,631人	25,944人	361人	
年度末給水戸数	2,810戸	6,265戸	9,075戸	107戸	
配水量	年間	864,146 m <sup>3</sup>	2,229,442 m <sup>3</sup>	3,093,588 m <sup>3</sup>	17,460 m <sup>3</sup>
	一日平均	2,368 m <sup>3</sup>	6,108 m <sup>3</sup>	8,476 m <sup>3</sup>	48 m <sup>3</sup>
有収水量	年間	737,137 m <sup>3</sup>	1,853,593 m <sup>3</sup>	2,590,730 m <sup>3</sup>	17,156 m <sup>3</sup>
	一日平均	2,020 m <sup>3</sup>	5,078 m <sup>3</sup>	7,098 m <sup>3</sup>	47 m <sup>3</sup>
一日最大配水量	2,937 m <sup>3</sup>	7,281 m <sup>3</sup>	10,218 m <sup>3</sup>	77 m <sup>3</sup>	
有 収 率	85.3 %	83.1 %	83.7 %	98.3 %	

事 項	平成24年度(3月末現在)			備 考 (うち簡易水道事業)	
	塩田地区	嬉野地区	合 計		
年度末給水人口	9,414人	16,809人	26,223人	372人	
年度末給水戸数	2,790戸	6,282戸	9,072戸	110戸	
配水量	年間	871,707 m <sup>3</sup>	2,193,141 m <sup>3</sup>	3,064,848 m <sup>3</sup>	18,381 m <sup>3</sup>
	一日平均	2,388 m <sup>3</sup>	6,009 m <sup>3</sup>	8,397 m <sup>3</sup>	50 m <sup>3</sup>
有収水量	年間	723,500 m <sup>3</sup>	1,846,393 m <sup>3</sup>	2,569,893 m <sup>3</sup>	17,172 m <sup>3</sup>
	一日平均	1,982 m <sup>3</sup>	5,059 m <sup>3</sup>	7,041 m <sup>3</sup>	47 m <sup>3</sup>
一日最大配水量	3,096 m <sup>3</sup>	6,926 m <sup>3</sup>	10,022 m <sup>3</sup>	69 m <sup>3</sup>	
有 収 率	83.0 %	84.2 %	83.9 %	93.4 %	

事 項	比 較			備 考 (うち簡易水道事業)	
	塩田地区	嬉野地区	合 計		
年度末給水人口	△101人	△178人	△279人	△11人	
年度末給水戸数	20戸	△17戸	3戸	△3戸	
配水量	年間	△7,561 m <sup>3</sup>	36,301 m <sup>3</sup>	28,740 m <sup>3</sup>	△921 m <sup>3</sup>
	一日平均	△20 m <sup>3</sup>	99 m <sup>3</sup>	79 m <sup>3</sup>	△2 m <sup>3</sup>
有収水量	年間	13,637 m <sup>3</sup>	7,200 m <sup>3</sup>	20,837 m <sup>3</sup>	△16 m <sup>3</sup>
	一日平均	38 m <sup>3</sup>	19 m <sup>3</sup>	57 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
一日最大配水量	△159 m <sup>3</sup>	355 m <sup>3</sup>	196 m <sup>3</sup>	8 m <sup>3</sup>	
有 収 率	2.3 %	△1.1 %	△0.2 %	4.9 %	

平成 25 年度における給水状況は、平成 26 年 3 月末現在で、給水戸数 9,075 戸、給水人口 25,944 人、年間配水量 3,093,588 m<sup>3</sup>、年間有収水量 2,590,730 m<sup>3</sup> で、前年度と比較して給水人口は減少したものの、配水量及び有収水量ともに増加している。1 日平均配水量は 8,476 m<sup>3</sup> で、昨年度より 79 m<sup>3</sup> の増、1 日平均有収水量は 7,098 m<sup>3</sup> で、昨年度より 57 m<sup>3</sup> 増加している。給水戸数は、前年度と比較して 3 戸増加したものの、年度末給水人口は 279 人減少しており、核家族化等によるものと推察される。今年度、大規模な漏水事故等はなかったものの、有収率は 83.7% で前年度より 0.2 ポイント減となっている。今後とも計画的な配水管布設替え等による漏水の未然防止及び漏水の早期発見と迅速な対応に努められたい。

## (2) 建設改良事業

平成 25 年度の建設改良費 99,729,000 円のうち、工事にかかる 91,127,400 円の主なものは下記のとおりである。引き続き他事業との連携を図りながら、効率的な設計、契約等の事務に当たり経費の節減に努められたい。

【嬉野地区】 66,277,050 円

水道施設改良費	57,216,600 円
市道嬉野環状線配水管布設替工事 (第 1 工区～第 6 工区)	19,782,000 円
市道小崩木場線配水管布設替工事	3,991,050 円
国道 34 号今寺地区配水管布設替工事	4,371,150 円
清水浄水場機械設備改修工事	17,285,100 円
国道 34 号今寺地区舗装工事	3,738,000 円
その他	8,049,300 円
水道施設新設・拡張費	9,060,450 円
市道広瀬東吉田線配水管布設工事 (第 1 工区～第 2 工区)	5,490,450 円
市道古木場線配水管布設替工事	2,004,450 円
その他	1,565,550 円

【塩田地区】 24,850,350 円

水道施設改良費	21,496,650 円
市道畦川内線配水管布設替工事 (第1工区～第6工区)	18,757,200 円
鍋野配水池水位計更新工事	800,100 円
鍋野地区消火栓取替工事 (第1工区～第2工区)	785,400 円
その他	1,153,950 円
水道施設新設・拡張費	3,353,700 円
牛間田地区配水管布設工事	2,333,100 円
その他	1,020,600 円

## 2. 予算及び決算について

### (1) 収益的収入及び支出（税込）

収益的収支の予算に対する決算の状況は、次のとおりである。

収入 (単位：円・%)

	予 算 額	決 算 額	増 減	決算額の対 予算額割合
水道事業収益	605,043,000	610,215,202	5,172,202	100.9
1.営業収益	493,608,000	498,591,157	4,983,157	101.0
2.営業外収益	111,435,000	111,624,045	189,045	100.2

支出 (単位：円・%)

	予 算 額	決 算 額	不用額	決算額の対 予算額割合
水道事業費用	638,466,000	618,295,565	20,170,435	96.8
1.営業費用	597,028,000	576,862,478	20,165,522	96.6
2.営業外費用	41,438,000	41,433,087	4,913	100.0

収益的収入の決算額は 610,215,202 円で、予算額 605,043,000 円に対し 100.9%の収入率となっている。

その内訳は、営業収益が 498,591,157 円で、予算額 493,608,000 円に対し 101.0

％、営業外収益は 111,624,045 円で、予算額 111,435,000 円に対し 100.2％となっている。

収益的支出の決算額は 618,295,565 円で予算額 638,466,000 円に対し 96.8％の執行率となっている。

その内訳は、営業費用が 576,862,478 円で、予算額に対する不用額は 20,165,522 円となり、執行率は 96.6％である。

営業外費用は 41,433,087 円で、予算額に対する不用額は 4,913 円となり、執行率は 100.0％である。

## (2) 資本的収入及び支出（税込）

資本的収支の予算に対する決算の状況は、次のとおりである。

### 収入

(単位：円・％)

	予 算 額	決 算 額	増 減	決算額の対 予算額割合
資本的収入	24,521,000	24,356,186	△164,814	99.3
1.工事負担金	4,000	0	△4,000	0
2.他会計補助金	22,416,000	22,416,836	836	100.0
3.他会計負担金	2,101,000	1,939,350	△161,650	92.30

### 支出

(単位：円・％)

	予 算 額	決 算 額	不 用 額	決算額の対 予算額割合
資本的支出	198,787,000	193,352,533	5,434,467	97.3
1.建設改良費	105,117,000	99,729,000	5,388,000	94.9
2.営業設備費	255,000	210,410	44,590	82.5
3.企業債償還金	93,415,000	93,413,123	1,877	100.0

資本的収入の決算額は 24,356,186 円で、予算額 24,521,000 円に対し 99.3％の収入率となっている。

その内訳は、他会計補助金 22,416,836 円、他会計負担金 1,939,350 円である。

資本的支出の決算額は 193,352,533 円で、予算額 198,787,000 円に対し 97.3％の執行率となっている。

その内訳は、建設改良費 99,729,000 円、営業設備費 210,410 円、企業債償還金 93,413,123 円である。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 168,996,347 円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 4,749,000 円、過年度分損益勘



定留保資金 164,247,347 円で補填している。

(3) 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

議会の議決を経なければ流用することができない経費は、職員給与費及び交際費であり、いずれも議決範囲内において執行されている。

(単位：円・%)

区分	議決額	決算額	不用額	執行率
職員給与費	53,841,000	52,389,850	1,451,150	97.3
交際費	20,000	0	20,000	0

(4) たな卸資産の購入限度額

たな卸資産の購入限度額は 9,119,000 円で、購入額は 5,840,855 円、執行率は 64.1% となっており、限度内で執行されている。

### 3. 経営成績について

#### 収益的収入及び支出について（税抜き）

営業収益は 475,011,880 円、営業外収益は 111,261,808 円で、収益的収入の総額は 586,273,688 円であった。

これに対し、営業費用は 564,470,727 円、営業外費用は 35,093,587 円で、収益的支出の総額は 599,564,314 円であった。

平成 25 年度の経営結果は、営業収支が 89,458,847 円の損失、営業外収支では 76,168,221 円の利益となり、当年度純損失は 13,290,626 円となった。

なお、当年度純損失については、前年度繰越利益剰余金から 9,470,334 円を補填し、なお不足する欠損金については、利益積立金より 3,820,292 円を繰り入れた。

営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す営業収支比率については上水道給水収益の増加により、84.15%と昨年度より 2.55 ポイント上昇している。

また、職員 1 人当たりの営業収益は、67,859 千円と昨年度より 794 千円増加しており、類似団体の 53,566 千円（平成 24 年度）をかなり上回っており、業務の効率化等により鋭意努力されているものと評価した。

収益的収入及び支出の状況

収入（税抜き）

（単位：円）

(3)簡易水道他会計補助金	17,170,284	17,873,205	△ 702,921	△ 3.9	(3.0)
(4)上水道加入金	7,160,000	5,520,000	1,640,000	29.7	(1.2)
(5)簡易水道加入金	0	0	0	0.0	(0.0)
(6)上水道雑収益	977,765	732,983	244,782	33.4	(0.2)
(7)簡易水道雑収益	820	820	0	0.0	(0.0)
<b>3 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>2,815</b>	<b>△ 2,815</b>	<b>皆減</b>	<b>(0.0)</b>
(1)上水道固定資産売却益	0	2,815	△ 2,815	皆減	(0.0)
<b>事業収益計</b>	<b>586,273,688</b>	<b>590,217,316</b>	<b>△ 3,943,628</b>	<b>△ 0.7</b>	<b>100.0</b>

支出（税抜き）

（単位：円）

項目	平成25年度	平成24年度	前年度比	増減率 (%)	構成率 (%)
<b>1 営業費用</b>	<b>564,470,727</b>	<b>575,303,575</b>	<b>△ 10,832,848</b>	<b>△ 1.9</b>	<b>94.1</b>
(1)原水及び浄水費	159,030,989	158,525,656	505,333	0.3	(26.5)
(2)配水及び給水費	86,733,139	92,009,844	△ 5,276,705	△ 5.7	(14.5)
(3)受託工事費	0	0	0	0.0	(0.0)
(4)総係費	68,951,937	64,249,466	4,702,471	7.3	(11.5)
(5)簡易水道費	3,748,520	3,637,487	111,033	3.1	(0.6)
(6)減価償却費	241,290,305	244,020,946	△ 2,730,641	△ 1.1	(40.2)
(7)資産減耗費	3,868,007	11,864,879	△ 7,996,872	△ 67.4	(0.6)
(8)その他営業費用	847,830	995,297	△ 147,467	△ 14.8	(0.2)
<b>2 営業外費用</b>	<b>35,093,587</b>	<b>34,559,058</b>	<b>534,529</b>	<b>1.5</b>	<b>5.9</b>
(1)上水道支払利息	24,326,245	25,837,094	△ 1,510,849	△ 5.8	(4.1)
(2)簡易水道支払利息	6,921,932	7,455,211	△ 533,279	△ 7.2	(1.2)
(3)上水道その他営業外費用	3,845,410	1,266,753	2,578,657	203.6	(0.6)
(2)簡易水道その他営業外費用	0	0	0	0.0	(0.0)
<b>事業費用計</b>	<b>599,564,314</b>	<b>609,862,633</b>	<b>△ 10,298,319</b>	<b>△ 1.7</b>	<b>100.0</b>

#### 4. 財政状況について

資産の面をみると、固定資産が5,507,086,731円で、前年度より2.7%減少している。これは、主に固定資産の減価償却による減少である。

また、流動資産は、1,136,248,430円で前年度より5.3%増加しているが、資産全体としては前年度より92,525,152円減少している。

資本金については、自己資本金において、平成26年度からの会計制度の見直しに向けて、合併前に取得した償却資産等にかかる補助金については、自己資本金に組み入れていたため、「みなし償却」相当分を新制度移行前に議会の議決を経て、自己資本金から資本剰余金へ370,748,069円を振り替えたことによる減、また、借入資本金についても93,413,123円の減が生じており、資本金では464,161,192円の減となっている。

剰余金は、資本剰余金において、自己資本金から資本剰余金に振り替えられたことによる増と、上水道一般会計補助金22,416,836円の増等により、381,813,629円の増となるが、利益剰余金において13,290,626円の減が生じており、剰余金では381,813,629円の増となっている。

資本全体では、借入資本金の減が要因で82,347,563円の減となっている。

当市では借入資本金は企業債のみとなっているが、上水道事業債、簡易水道事業債とも順調に償還され、本年度末残高は1,263,408,151円であった。

#### 貸借対照表

資産の部（税抜き）

（単位：円）

科 目	平成25年度	平成24年度	前年度比	増減率(%)
1 固定資産	5,507,086,731	5,657,054,633	△ 149,967,902	△ 2.7
(1)上水道有形固定資産	5,140,957,045	5,274,804,127	△ 133,847,082	△ 2.5
(2)簡易水道有形固定資産	320,794,322	330,504,874	△ 9,710,552	△ 2.9
(3)上水道無形固定資産	44,692,644	50,946,582	△ 6,253,938	△ 12.3
(4)簡易水道無形固定資産	642,720	799,050	△ 156,330	△ 19.6
2 流動資産	1,136,248,430	1,078,805,680	57,442,750	5.3
(1)現金預金	1,113,166,587	1,048,894,159	64,272,428	6.1
(2)未収金	20,030,051	27,113,101	△ 7,083,050	△ 26.1
(3)有価証券	0	0	0	-
(4)貯蔵品	3,051,792	2,798,420	253,372	9.1
資産合計	6,643,335,161	6,735,860,313	△ 92,525,152	△ 1.4

## 負債の部（税抜き）

（単位：円）

科 目	平成25年度	平成24年度	前年度比	増減率(%)
<b>1 流動負債</b>	<b>16,496,595</b>	<b>26,674,184</b>	<b>△ 10,177,589</b>	<b>△ 38.2</b>
(1)未払金	16,287,655	26,468,634	△ 10,180,979	△ 38.5
(2)その他流動負債	208,940	205,550	3,390	1.6
<b>負債合計</b>	<b>16,496,595</b>	<b>26,674,184</b>	<b>△ 10,177,589</b>	<b>△ 38.2</b>

## 資本の部（税抜き）

（単位：円）

科 目	平成25年度	平成24年度	前年度比	増減率(%)
<b>1 資本金</b>	<b>5,330,493,539</b>	<b>5,794,654,731</b>	<b>△ 464,161,192</b>	<b>△ 8.0</b>
(1)自己資本金	4,067,085,388	4,437,833,457	△ 370,748,069	△ 8.4
(2)借入資本金	1,263,408,151	1,356,821,274	△ 93,413,123	△ 6.9
<b>2 剰余金</b>	<b>1,296,345,027</b>	<b>914,531,398</b>	<b>381,813,629</b>	<b>41.7</b>
(1)資本剰余金	1,059,527,496	664,423,241	395,104,255	59.5
(2)利益剰余金	236,817,531	250,108,157	△ 13,290,626	△ 5.3
<b>資本合計</b>	<b>6,626,838,566</b>	<b>6,709,186,129</b>	<b>△ 82,347,563</b>	<b>△ 1.2</b>

平成 25 年度末における水道使用料の収入済額は、過年度・現年度合わせて、492,344,940 円であった。

水道使用料の未収金の回収については、収入未済額 17,577,040 円、平成 25 年度末の徴収率 95.83%で、昨年度より 0.03 ポイント上昇している。厳しい地方経済状況のなか、今後更に大口利用者の業務悪化や倒産等による滞納の増加も予想されるため、より一層収納対策を強化し強い姿勢で臨みたい。

また、給水原価に係る供給単価で示す料金回収率は 78.41%で、昨年度より 2.18 ポイント増加している。通常業務に加え、課内での一斉徴収など収納業務にも積極的に取り組まれてはいるが、受益者負担の公平性を確保する観点から、できる限りの徴収努力を行い、債権の適切な管理に努めていただきたい。

未収金の状況（塩田地区）

当初調定年度	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	人数 (人)	月数 (月)	収入未済額 (円)
平成9年度	45,590	27,890	0	1	1	17,700
平成10年度	438,490	60,000	0	3	13	378,490
平成11年度	199,000	0	0	3	7	199,000
平成12年度	93,090	9,160	0	1	6	83,930
平成13年度	43,670	0	0	2	3	43,670
平成14年度	190,930	0	0	3	22	190,930
平成15年度	207,080	42,320	0	4	24	164,760
平成16年度	161,750	52,380	0	4	28	109,370
平成17年度	165,950	29,820	0	4	39	136,130
平成18年度	136,820	5,250	0	5	35	131,570
平成19年度	150,260	13,220	0	4	34	137,040
平成20年度	400,680	3,990	208,830	10	50	187,860
平成21年度	321,550	51,360	0	17	75	270,190
平成22年度	451,290	123,570	0	19	82	327,720
平成23年度	504,750	106,640	0	17	86	398,110
平成24年度	2,417,440	1,888,490	0	18	110	528,950
過年度計	5,928,340	2,414,090	208,830	115	615	3,305,420
現年度	140,940,070	138,312,590	0	398	775	2,627,480
合計	146,868,410	140,726,680	208,830	513	1,390	5,932,900

未収金の状況（嬉野地区（上水・簡水合算））

当初調定年度	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	人数 (人)	月数 (月)	収入未済額 (円)
平成14年度	9,220	9,220	0	0	0	0
平成15年度	56,640	49,000	0	0	2	7,640
平成16年度	0	0	0	0	0	0
平成17年度	11,470	11,470	0	0	0	0
平成18年度	83,560	71,040	0	0	2	12,520
平成19年度	152,810	48,700	0	2	19	104,110
平成20年度	3,985,380	58,520	3,636,580	18	100	290,280
平成21年度	542,760	129,000	0	44	175	413,760
平成22年度	665,590	127,460	0	40	190	538,130
平成23年度	1,227,070	340,250	0	57	236	886,820
平成24年度	7,510,610	5,907,490	0	76	333	1,603,120
過年度計	14,245,110	6,752,150	3,636,580	237	1,057	3,856,380
現年度	352,653,870	344,866,110	0	1,147	1,855	7,787,760
合計	366,898,980	351,618,260	3,636,580	1,384	2,912	11,644,140

## 未収金の状況（嬉野市合計）

当初調定年度	調定額	収入済額	不納欠損額	人数	月数	収入未済額
	(円)	(円)	(円)	(人)	(月)	(円)
平成9年度	45,590	27,890	0	1	1	17,700
平成10年度	438,490	60,000	0	3	13	378,490
平成11年度	199,000	0	0	3	7	199,000
平成12年度	93,090	9,160	0	1	6	83,930
平成13年度	43,670	0	0	2	3	43,670
平成14年度	200,150	9,220	0	3	22	190,930
平成15年度	263,720	91,320	0	4	26	172,400
平成16年度	161,750	52,380	0	4	28	109,370
平成17年度	177,420	41,290	0	4	39	136,130
平成18年度	220,380	76,290	0	5	37	144,090
平成19年度	303,070	61,920	0	6	53	241,150
平成20年度	4,386,060	62,510	3,845,410	28	150	478,140
平成21年度	864,310	180,360	0	61	250	683,950
平成22年度	1,116,880	251,030	0	59	272	865,850
平成23年度	1,731,820	446,890	0	74	322	1,284,930
平成24年度	9,928,050	7,795,980	0	94	443	2,132,070
過年度計	20,173,450	9,166,240	3,845,410	352	1,672	7,161,800
現年度	493,593,940	483,178,700	0	1,545	2,630	10,415,240
合計	513,767,390	492,344,940	3,845,410	1,897	4,302	17,577,040

## 5. 経営指標について

平成25年度 水道事業経営指標は次のとおりである。

	H24類似団体	H25嬉野市	経営指数解説
経常収支比率 (%)	109.36	97.78	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す。この比率が高いほど経常利益率が高いことを示し、100%未満であれば、経常損失が生じていることを意味する。
繰入金比率 (%) (収益的収入分)	5.77	17.65	収入における繰入金依存度を分析しようとするものであり、収支比率に与える影響を考察することは重要。
営業収支比率 (%)	116.94	84.15	営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が高いほど営業利益率が良いことを表し、100%未満では営業損失が生じていることを意味する。
自己資本構成比率 (%)	65.29	80.73	財務状態の長期的な安全性の指標。総資本に占める自己資本の割合。建設改良を企業債で施行すれば低くなり、内部留保資金等で施行すれば高くなる。
料金回収率 (%)	98.71	78.41	供給単価と給水原価との関係を見るもの。料金回収率が100%を下回っている場合、給水にかかる費用が水道料金による収入以外に他の収入で賄われていることを意味し適正な料金収入の確保が求められる。
職員1人当たり 営業収益 (千円)	53,566	67,859	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$

## むすび

平成 25 年度における水道事業は、上水道給水収益の伸びがみられるものの、高料金対策にかかる上水道他会計補助金等の減少などにより、収益的収入は減少したが、収益的支出において、受水費単価の減等により、当初予算の損失額約 40,000 千円をかなり下回り、13,290,626 円の損失となった。

受益者負担の原則では、損失決算により水道料金の改訂を必要とするが、平成 26 年度から地方公営企業会計基準の見直しにより新会計基準へ移行することで、補助金等により取得した資産の減価償却相当額を長期前受金として収益化ができるようになり、料金改定の時期も幾分遅らせることができる見通しとなった。

今年度の有収率は 83.7%と昨年度より 0.2 ポイント後退している。有収率の向上は、経営の効率化につながると同時に、水源確保の一環であるとの認識のもと、老朽化した施設を多く抱える当市においては、これからも突発漏水が発生する可能性があることから、可能な限り有収率の低下を避けるための積極的な漏水調査と、老朽管布設替工事等を強力に推進して漏水防止に努め、長期的に安定した有収率の維持を目指して努力する必要がある。

また、水道料金の未収金については、徴収努力はみられるものの、なお多額の未収金となっており、今後も徴収嘱託員との連絡を密にし、未納者の生活実態に関する情報交換を行い、転居先不明や連絡不能にならないよう徴収活動を持続する必要がある。なお、徴収率の向上については、早期の停水予告、更には停水措置を強化するなど、受益者負担の公平性を期する上からも格段の努力を要望する。

今後の運営については、人口の減少や少子高齢化などの人口構成の変化、節水型社会への移行等により水需要の伸びは期待できないと考えられ、また施設の老朽化への対応も必要なことから水道事業をとりまく環境はなお厳しいものが見込まれる。

平成 26 年度より、企業会計基準の見直しの進展、地方主権改革の推進、公営企業の抜本改革の推進を背景として、地方公営企業会計制度も昭和 41 年以来、46 年ぶりの大幅な見直しが行われ、決算については、新会計基準による初めての決算となることから、計上誤り等がないよう特段の配慮をされたい。

終わりに、嬉野、塩田両地区の水道料金の統一が平成 24 年度に行われたことで、今後の水道事業の経営には、今まで以上に市民の関心も高まっており、良質の水道水の安定供給を継続するために、企業としての経済性、効率性及び有効性の高い事業運営により水道事業経営の健全性を高めることが望まれるところである。

今後益々経営基盤の強化を図られるとともに、安心、安全な水の供給とライフラインとして災害に強い施設づくりを推進し、公共の福祉増進に寄与すべく事業の推進及び健全経営に努められたい。